

令和7年度 学校評価に係る学校関係者による評価について

大田区における学校評価は、教職員が行う自己評価と保護者、地域住民等により構成された学校関係者評価の実施によって進めています。自己評価は、おおた教育ビジョンに基づき、取組指標や成果指標を設定し、その評価を実施します。また、学校関係者評価は、学校運営協議会が行い、学校の教育活動の観察・意見交換及び、自己評価の結果の妥当性を評価いただくことで、学校と地域の連携・協力を図ります。これらの学校評価の結果を次年度の学校経営改善に生かし、マネジメントサイクル(PDCA)を確立します。つきましては、下記の通り、学校関係者による評価について御協力賜りますようお願いいたします

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄											
								評価	コメント										
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未成 来社来 会を創 造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 81.3%以上	4: 81.3%以上	全国学力・学習状況調査(6年生)児童質問紙「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか」の設問に、肯定的回答をした児童の割合	A	・説明にもあるように学校評価の回答時期が結果に大きく反映していると思う。商店街との取り組みでは、盆踊りの際の提灯や掲示物等商店街を歩くたびに子供たちの作品が見られてとても良かったと思います。日頃から利用している商店街で関わりが持てるのは、後の自分の住む地域への思い等にも反映されるのでよい取り組みだと思います。以前も金羊社さんへ社会科見学に伺った記憶があり、地域への関わり方がより深く主体的になっていて、この取り組みが未来の子供たちの基盤になるといいなと思います。										
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							87.1	3: 81.3%未満	2	75	B	体験と発信ができています。				
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													90.9	2: 80%未満	C	アンケート8ポイント減の分析等完了し共通理解し、今後のPDCAを活用し、次年度の回答を期待しています。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																
②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 81.3%未満	2	75	C	町のことをよく理解して取り組んでくださっていると感じています。来年度以降の結果が楽しみです。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	90.9							2: 80%未満	D	何が出来るか先行してしまい、地域の活動の意義や具体的な活動を理解していないと思う。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											90.1	1: 70%未満	D	来年度も地域と協力した活動をよろしくお願いします。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															90.1	1: 70%未満	D	盆踊り等の地域の行事に対して積極的に子供たちの参加・協力が見られた。	
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 81.3%未満	2	75	D	前年度よりも成果指標が低下したのが残念ですが、次年度は「おおたの未来づくり」を実施した成果が指標に反映されることを期待しています。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	90.1							2: 80%未満	D	盆踊り等の地域の行事に対して積極的に子供たちの参加・協力が見られた。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											90.1	1: 70%未満	D	前年度よりも成果指標が低下したのが残念ですが、次年度は「おおたの未来づくり」を実施した成果が指標に反映されることを期待しています。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															90.1	1: 70%未満	D	前年度よりも成果指標が低下したのが残念ですが、次年度は「おおたの未来づくり」を実施した成果が指標に反映されることを期待しています。	
お世個 お界別 たを標 とを担 な2 うが 人材 を育 都成 市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 95%以上	4: 95%以上	学校評価保護者アンケート「学校は、子どもたちの人権を尊重して指導している」の設問に、肯定的回答をした保護者の割合	A	・全体的な評価が高く、昨年度に比べてもよくなったのは評価に値すると思う。ほとんどの教職員・児童・保護者が高評価ながら、障害やしんしゅによるいじめ差別があった事実は重くとらえるべきで課題である。人権尊重や文化の尊重については、子どもたちの想像力の育成がとて大切だと思う。相手の立場に立ち、思いやる気持ちを育てることこそが身近でできる一番大切なことだとも思う。										
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							87.8	3: 83.5%未満	3	94.6	B	教育活動の中で人権ばかりを尊重しすぎること、教員皆様にご負担にならないかとも思います。				
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													95.4	2: 80%未満	C	人権尊重という難しい課題は取り組んで切ることが評価できるが、ポスターや標語だけでなく内容にも入り込んでほしい。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 95%以上	3	94.6	B	教育活動の中で人権ばかりを尊重しすぎること、教員皆様にご負担にならないかとも思います。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	95.4							2: 80%未満	C	人権尊重という難しい課題は取り組んで切ることが評価できるが、ポスターや標語だけでなく内容にも入り込んでほしい。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											91.1	1: 70%未満	D	成果指標が前年度よりも向上したの良かったと思います。ただ、本校目の目標では「英語力」「伝統文化の尊重」「持続可能な社会」などがキーワードとなっているので、人権尊重の視点だけでなく、より適切な成果指標の設定ができること、より望ましいのではないかと思います。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															91.1	1: 70%未満	D	成果指標が前年度よりも向上したの良かったと思います。ただ、本校目の目標では「英語力」「伝統文化の尊重」「持続可能な社会」などがキーワードとなっているので、人権尊重の視点だけでなく、より適切な成果指標の設定ができること、より望ましいのではないかと思います。	
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 95%以上	3	94.6	C	成果指標が前年度よりも向上したの良かったと思います。ただ、本校目の目標では「英語力」「伝統文化の尊重」「持続可能な社会」などがキーワードとなっているので、人権尊重の視点だけでなく、より適切な成果指標の設定ができること、より望ましいのではないかと思います。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	91.1							2: 80%未満	D	成果指標が前年度よりも向上したの良かったと思います。ただ、本校目の目標では「英語力」「伝統文化の尊重」「持続可能な社会」などがキーワードとなっているので、人権尊重の視点だけでなく、より適切な成果指標の設定ができること、より望ましいのではないかと思います。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											91.1	1: 70%未満	D	成果指標が前年度よりも向上したの良かったと思います。ただ、本校目の目標では「英語力」「伝統文化の尊重」「持続可能な社会」などがキーワードとなっているので、人権尊重の視点だけでなく、より適切な成果指標の設定ができること、より望ましいのではないかと思います。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															91.1	1: 70%未満	D	成果指標が前年度よりも向上したの良かったと思います。ただ、本校目の目標では「英語力」「伝統文化の尊重」「持続可能な社会」などがキーワードとなっているので、人権尊重の視点だけでなく、より適切な成果指標の設定ができること、より望ましいのではないかと思います。	
た一個 め人別 の目標 とを担 り3 とが 個性 とを能 力を成 をを しを 揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 86.9%以上	4: 86.9%以上	全国学力・学習状況調査(6年生)児童質問紙「自分には、よいところがある」と思いますが、よいところがあると思いませんか」の設問に、肯定的回答をした児童の割合	A	・「自分にはよいところがある」に対し肯定的な回答が9割以上というのとはとても良いと思う。「誉める」ということはとても大切なことだと思う。「誉める」だけでは自己肯定感を伸ばすことにはつながらず、自己肯定感というのは、誉められることではなく、自分自身が納得した答えを出せるときこそ伸ばすことができると思う。そういった意味では高学年の子供たちに対しては誉めるだけでなく活動や行動に対して自分がどう思ったか、どう感じたか等を問う教育が必要だと思う。自分のことだけでなく他者をより理解することや存在を意識するようになる高学年の子供たちにより一層自己肯定感を感じてもらえる教育をお願いします。										
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							91.9	3: 86.9%未満	4	91.1	B	家庭が重要である。				
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													88.2	2: 80%未満	C	今後の改善策末尾の記載にあるように教育活動の為に限られた範囲でなく、広くとらえ登下校時廊下であったりいろいろ誉める場面は多様だと思います。学校経営計画の2にあるように「わくわくする学校」は児童数800人分あると思います。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																
②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 86.9%未満	4	91.1	C	自分を見つめなおしてできることはいいことだと思う。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	88.2							2: 80%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											90.4	1: 70%未満	D	自分を見つめなおしてできることはいいことだと思う。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															90.4	1: 70%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。	
③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 86.9%未満	4	91.1	D	自分を見つめなおしてできることはいいことだと思う。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	90.4							2: 80%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											88.2	1: 70%未満	D	自分を見つめなおしてできることはいいことだと思う。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															88.2	1: 70%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。	
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 86.9%未満	4	91.1	D	自分を見つめなおしてできることはいいことだと思う。												
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	88.2							2: 80%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。									
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											88.2	1: 70%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。					
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															88.2	1: 70%未満	D	自分肯定感の高い児童の割合が高いことは、大変好ましいことだと思います。先生方が、子供たち一人一人の良さを認め、伸ばしていることが実を結んでいると思います。	

<p>学個別力・標4師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働けることができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組む、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p> <p>95.5</p>	<p>全国学力・学習状況調査(6年生)児童質問紙「先生は、あなたのよいところを認めてくれるか」の設問に、肯定的回答をした児童の割合</p> <p>全国平均 92.2%</p> <p>昨年度本校 92.9%</p> <p>今年度本校 97.6%</p>	<p>4: 92.2%以上</p> <p>3: 92.2%未満</p> <p>2: 85%未満</p> <p>1: 75%未満</p>	<p>A 9</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>教員から見ても子どもとの相性の良さがあるように、子供から見ても教職員に対しての相性の良さがあることは当たり前だと思われ、もちろん大人は子どもに対し相性の良さを感じていないかと思う。子どもたちが様々な大人と触れ合い豊かな人付き合いを学ぶ上でとても大切だと思う。関わってくれる大人が少なくないことで、良さをたくさん見つけてくれる機会が今後も増えてほしいと思う。</p> <p>先生と児童との関係はとても良いと感じています。行事が重なると体力力が低減しているようですが、一生懸命指導してくださっています。そんな姿を子どもたちもしっかり見ていると感じます。</p> <p>教職員の働き方改革と業務の適正化と難しい問題であるが、真摯に取り組んでいると思う。</p> <p>項目③が前年度から大きく向上し、先生方のウェルビーイングが向上することで、子どもたちの良い働きかけができていますという好循環が生まれていると感じます。引き続き、教員の働き方改革にも力を注いでいただくことを期待しています。</p>
<p>た自個め別の学し標びをく5い支援しきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p> <p>94.8</p>	<p>全国学力・学習状況調査(6年生)児童質問紙「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についても相談できますか」の設問に肯定的回答をした児童の割合が全国平均以上</p> <p>全国平均 72.6%</p> <p>昨年度本校 66.9%</p> <p>今年度本校 70.9%</p>	<p>4: 72.6%以上</p> <p>3: 72.6%未満</p> <p>2: 60%未満</p> <p>1: 50%未満</p>	<p>A 4</p> <p>B 5</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>評価は正しいと思う。この複雑な時代において、この質問に対し、多くの子どもが肯定的だと、そのほうが疑問視されようという気がする。いまや子供の悩みもチャットに訴える時代。そんな中で「いつでも相談できますか」に対し、「はい」とはなかなか答えられないと思います。しかし、そんな中でもSCやSSW担任や支援員、みんなで子どもを支えようとする気持ちがあればきっと子どもたちもその大人の姿に気づき、相談してくれるのではないかと信じています。</p> <p>困りごとや不安、難しい対応と考えます。地域連携含め子どもの成長を見守りましょう。</p> <p>特に低学年はなかなか先生に気軽に話したりできる時間がないので、活用しても良いと思うが、先生の負担が大きくなる不安もある。</p> <p>いじめや困りごとについては学校だけでなく、地域をあげて取り組む体制が必要である。</p> <p>アンケートの実施やSCとの面談など、学校として相談しやすい雰囲気づくりに努めていると思いますが、成果指標が7割程度なのには気がなります。ぜひ、残りの3割の児童にも、相談しやすい雰囲気や伝わるようなメッセージの発信をしていただくことを期待しています。</p>
<p>安柔個心軟別で目教創標育造6環的境なを学習く空り間と安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境を整備するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p> <p>92.8</p>	<p>学校評価保護者アンケート「学校は、タブレット活用等、ICT教育に取り組んでいる」の設問に、肯定的回答をした保護者の割合</p> <p>昨年度本校 92.1%</p> <p>今年度本校 92.7%</p>	<p>4: 95%以上</p> <p>3: 95%未満</p> <p>2: 90%未満</p> <p>1: 80%未満</p>	<p>A 4</p> <p>B 5</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>私はこの評価は4:95%以上でよいと思います。子どもたちは大人以上にタブレットを使いこなす(時には大人に隠れて悪用するくらい)にしていると思う。毎日かなりの授業でタブレットを使用していると思うからです。保護者の中には子どもたちがそこまでタブレットを使って勉強に取り組んでいることを知らない方がいるのではないかと感じました。</p> <p>アンケート結果ではあと一歩だと思われます。引き続きよろしくお願ひします。</p> <p>ICT教育については私たちの世代では考えられないくらい、使いこなせているとは思いますが、利用の仕方については問題が山積みだと感じています。</p> <p>子どもたちにタブレットの便利な面とSNSにおける危うさをしっかり教えてください。</p> <p>避難訓練・防災訓練等、地域と一体となった訓練も必要である。</p> <p>生成AIの急速な発展など、日々進化するICT環境を生かしていくには、先生方のスキルの向上が欠かせないと思います。ぜひ、先生方への研修機会などを充実させていきたいと思います。</p>
<p>学地学個校域校別をコ・目標くミ家庭7リニ・地核の核連と携して協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域との協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p> <p>88.5</p>	<p>学校評価保護者アンケート「学校は、地域やPTOと連携して子どもを育てている」の設問に、肯定的回答をした保護者の割合</p> <p>昨年度本校 92.9%</p> <p>今年度本校 97.6%</p>	<p>4: 95%以上</p> <p>3: 95%未満</p> <p>2: 90%未満</p> <p>1: 80%未満</p>	<p>A 8</p> <p>B 1</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>昨年度スタートしたCSでは、地域との取り組みで商店街や企業と連携し「おたの未来づくり」を行ったとのことですが、やはりまだまだ知らない人が多いと思います。そういった意味では、広報活動(低学年への周知)や地域へのお知らせももっとあって良いと思います。またPTO活動に対しても関わりたくないと思っている家庭が増えていると感じています。地域の子どもを地域で育てる取組を増やしていけたらいいと思います。</p> <p>町内会との連携が進んだことは目に見えてよい。</p> <p>これまでの取り組みでもよく記載されています。今後も地域は教育活動に協力いたしますので引き続きよろしくお願ひします。</p> <p>PTO代表としても嬉しい結果となりました。なるべく保護者も巻き込んでイベント参加してもらうことでポイントを上げられたのかなと思います。</p> <p>低学年の「町探検」がなかったようですが、商店街はいつもで歓迎ですからお申し出ください。</p> <p>PTOと地域との河内敬は大変うまくいっている。PTOの地域の行事への積極的な参加に感謝している。</p> <p>今年度は、「おたの未来づくり」をの授業もスタートし、地域との連携もより充実してきていると感じます。引き続き、学校運営協議会として、学校・地域が協力して子供たちの育ちを支援していきたいと思っています。</p>

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。